

風とおしの良い夢のあるまちづくり

ながら俊一 通心

平群町議会議員 vol.24

ながら俊一事務所

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚623-3

TEL・FAX 0745-45-3955

ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年 第3回 平群町議会臨時会が、5月8日、令和7年 第4回 平群町定例議会が、6月10日から6月20日まで開催されました。

時間が過ぎるのが早く、令和7年も、半年が過ぎました。太陽の日差しも、夏を感じさせる勢いです。本町にお住まいの方々も熱中症に気を付けてお過ごしのことと存じます。私の議会活動も7年目を迎えました。まだまだ、勉強不足なところもありますが、真面目に取り組む姿勢を評価していただければ、幸いです。これからも、『町民の皆さまにとって、安心・安全なまちづくり』を心掛け、発信に努めてまいります。

また、6月議会において、町民の皆さまからのお声を元に、部活動改革について、平群町こども計画について、健康へぐり21計画について、これからのまちづくりについて、4点を質問させていただきました。

平群町議会のご報告をさせていただきます。

令和7年 第3回 平群町議会臨時会

第3回（臨時会 5月8日）	
承認案件 (2件 承認第1号～2号)	専決処分の承認を求めることについてなど
議案案件 (3件 議案第30号～32号)	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてなど 新庁舎建設特別委員会の中間報告の件 常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任について
同意案件 (1件 同意第1号)	監査委員の選任に同意を求めることについて

(※明細は議会だよりを参照してください)

諸般の報告については、

議会運営委員会(令和7年4月9日開催)より、議会運営についての報告がありました。案件は、委員会主義についてです。

新庁舎建設特別委員会(令和7年3月24日、4月8日、4月22日開催)より、新庁舎建設についての報告がありました。案件は、庁舎内における議会エリアについてです。

下水道事業特別委員会(令和7年3月24日開催)より、平群町公共下水道についての報告がありました。案件は、平群町公共下水道管の更新についてです。財政的に厳しく新規事業は、進まず、旧管の更新しかできない状況です。

承認第1号は、専決処分の承認を求めることについてです。専決内容は、平群町税条例の一部を改正する条例についてです。要旨は、地方税法及び地方税法の一部を改正する法律の一部を改正する法律等が令和7年3月31日に公布され、令和7年4月1日から施行されることに伴い、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正するものです。

承認第2号は、令和6年度平群町一般会計補正予算(第8号)についてです。専決内容は、年度内執行が見込めない事業についてです。繰越明許費として3事業(土地籍更生登記業務、生活支援事業(クオカード配布事業)、旧人権交流センター跡地整備事業)年度内執行ができませんでした。

議案第30号は、平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてです。議案要旨は、国民健康保険税の減額措置に係る軽減判定の算定基準額を変更するため、本条例の一部を改正するものです。5割軽減と2割軽減の方々の算定基準額の改正です。

議案第31号は、令和7年度平群町一般会計補正予算(第1号)についてです。福祉課では、制度改正に伴うシステム改修、こども支援課では、保育士等処遇改善事業補助金、健康保険課では、ブリズムへぐり電気設備改修工事費、住民生活課では、野菊の里空調設備改修工事、一般廃棄物広域化処理に関する予算措置と全部で総額105,322千円です。

議案第32号は、平群町介護保険特別会計補正予算(第1号)です。議案要旨は、システム改修に係る予算措置です。補正額は、990千円です。

新庁舎建設特別委員会の中間報告について委員長より報告がありました。

令和7年度 常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任です。

同意案件 監査委員の選任に同意を求めることについて

(1件 同意第1号)

平群町議会役員名簿

令和7年5月8日

議 長	山田 仁樹	副 議 長	井 戸 太 郎
-----	-------	-------	---------

名 称	委 員 長	副委員長	委 員
総務建設委員会	関 根 子	植田 いずみ	岩崎 真浩 長 良 俊一 山田 仁樹 馬本 隆夫
文教厚生委員会	稲 月 敏 子	須藤 啓 二	山本 隆史 山口 昌亮 井戸 太郎 森田 勝
下水道事業 特別委員会	森田 勝	長 良 俊一	須藤 啓 二 井戸 太郎 山田 仁樹 馬本 隆夫
財政検討 特別委員会	長 良 俊一	山口 昌亮	山本 隆史 植田 いずみ 山田 仁樹 馬本 隆夫
議会改革 特別委員会	岩崎 真浩	井戸 太郎	山本 隆史 稲月 敏子 山田 仁樹 森田 勝
公共交通対策 特別委員会	馬本 隆夫	関 根 子	長 良 俊一 稲月 敏子 植田 いずみ 森田 勝
新庁舎建設 特別委員会	植田 いずみ	山本 隆史	関 根 子 須藤 啓 二 岩崎 真浩 山口 昌亮
議会運営委員会	山口 昌亮	岩崎 真浩	関 根 子 須藤 啓 二 稲月 敏子 井戸 太郎

監 査 委 員	山本 隆史
---------	-------

議会選出付属機関委員名簿

名 称	定 数	任 期	役 職 委 員 名
国民健康保険議会	3	3	関 根 子 長 良 俊一 稲月 敏子 (令和10年改選)
都市計画審議会	7	4	山本 隆史 稲月 敏子 山口 昌亮 井戸 太郎 森田 勝 山田 仁樹 馬本 隆夫
住居表示審議会	3	4	関 根 子 須藤 啓 二 井戸 太郎
清掃センター 運営審議会	4	1	議 長 須藤 啓 二 山口 昌亮 馬本 隆夫 (毎年改選)
廃棄物減量等 推進審議会	3	2	山本 隆史 植田 いずみ 森田 勝 (令和9年改選)
介護保険 運営協議会	2	3	岩崎 真浩 植田 いずみ (令和9年改選)

名 称	委 員 長	副委員長	委 員
議会だより 編集委員会	山口 昌亮	岩崎 真浩	関 根 子 須藤 啓 二 稲月 敏子 井戸 太郎

令和7年 第4回 平群町議会定例会

第4回（定例会 6月10日～20日）

議案案件 (5件 議案第33号～37号)	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 についてなど
同意案件 (3件 同意第2号～4号)	公平委員会委員の選任に同意を求めることについてなど
報告案件 (1件 報告第5号)	議会の委任による専決処分の報告について
発議案件 (1件 発議第6号)	コメの不足と価格高騰への対策を求める意見書

(※明細は議会だよりを参照してください)

諸般の報告では、議会運営委員会(令和7年5月28日開催)より、報告がありました。案件は、令和7年平群町議会第4回定例会の議会運営についてです。引き続き、新庁舎建設特別委員会(令和7年5月28日開催)より、報告がありました。案件は、新庁舎建設にかかる論点と今後の進め方についてです。

また、総務部長より、繰越明許費繰越計算書について、報告がありました。土地地籍更生登記業など13件についてです。

最終日の諸般の報告では、新庁舎建設特別委員会(令和7年6月12日開催)より、報告がありました。案件は、新庁舎建設にかかる論点についてです。また、公共交通対策特別委員会(令和7年6月19日開催)より、報告がありました。案件は、令和6年度収支決算報告及び平群町椿井地区大型商業施設開業に伴うコミュニティバスのダイヤ改正についてです。

議案第33号は、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてです。この条例は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の改正に伴い、育児に係る両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備を行うものです。

議案第34号は、職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてです。この条例は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の改正に伴い、育児時間の多様化関係の整備を行うものです。

議案第35号は、令和7年度平群町一般会計補正予算(第2号)です。主な内容は、総務防災課では、無人航空機(ドローン)購入費の増額、政策推進課では、緑ヶ丘自治会集会所施設整備補助金、税務課では、定額減税補足給付金(不足額給付)支給事業、こども支援課では、多様な集団活動事業の利用支援給付金、住民生活課では、キエロ製作委託業務費、都市建設課では、緑ヶ丘南公園整備事業などです。補正額は、93,900千円です。補正後の予算総額は、8,409,222千円です。

議案第36号と37号は、平群町道路線の廃止と認定についてです。この案件は、民間開発(椿井地区)の完了に伴い、廃止、認定するものです。

同意第2号は、公平委員会委員の選任に同意を求めることについてです。

同意第3号と4号は、教育委員会委員の任命に同意を求めることについてです。

発議第6号は、コメの不足と価格高騰への対策を求める意見書です。

6月議会、私が一般質問しました内容を、ご報告いたします。

一般質問要旨

年月が過ぎるのも早く、夏を迎える季節となりました。令和6年度の出納閉鎖も終わり、一区切りの時期と考えます。また、令和7年度の町政執行も確実に前に推し進めていると思います。しかしながら、平群町の抱える問題や課題は、多岐にわたり、解決していくためには、沢山の情報収集に励み、他の市町村の良いところを学び、本町に置き換えて考えていくことが重要と感じています。『皆さんとともに輝く「へぐり」の未来を創る』をベースに進めていると考えますが、その観点を考慮し、お尋ねします。

1. 部活動改革について

質問要旨

平群中学校に入学された新一年生も、少しずつ学校生活に慣れたころと考えます。また、放課後部活動も興味を持って取り組んでいると考えます。しかしながら、先生方の働き方改革や部活動を地域へ移行することなどの観点から試行錯誤が続いて

いると感じています。少しずつでも問題点を解消し、子供や父兄に理解を求め、新しいモデルの構築が子どもたちの安心に繋がると考えます。現状をお聞かせ下さい。

答 弁

(教育委員会総務課)

部活動改革に関する当町の現状といたしましては、令和7年度におきましても引き続き国の実証事業を活用して学校部活動の地域移行の取り組みの検証を行っております。新たな取り組みとしては、新年度を迎えた4月に中学校教員に対して、今後の部活動のあり方に関する2回目の説明会を実施しました。また、令和8年度以降の部活動に関して引き続き指導を行うための兼業兼職の希望の有無等に関する意識調査を実施のうえで個々の教員への聞き取りを行っています。こうした取り組みを経て、まずは休日の活動における指導者確保に努めているところです。

今後、教員が休日の指導を望まない種目に関しては、指導者確保が可能であるのか、休日の地域クラブ活動の実施が可能なのかといった事柄に関して、調査を進めていく必要があります。具体的には、指導者は兼業兼職の希望をされた教員及び専門的な技能や知識、経験を有している教員以外の方による指導となります。その為、指導に当たる人に支払う謝金等が必要となります。この財源を国は「原則受益者負担」つまり保護者が負担することが基本となっています。しかしながら、各家庭によつての経済情勢も異なることから、いかに保護者の負担を減らせるか公的な支援が必要と言われております。今後、地域クラブ運営の財源確保に向け本町としても検討しているところです。引続き、既に立上げている平群町地域スポーツ・文化活動推進協議会の中での議論や地域クラブ活動の委託先である、総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」との協議を通じて指導者確保や地域クラブ活動としての実施の可否も含め、今年夏頃には判断を行っていきたいと考えています。

2. 平群町こども計画について

質問要旨

令和7年3月に本町より『平群町こども計画』が策定されました。計画の背景には、まちの次の時代を担う存在であり、社会全体で支えていくことが重要であり、また、将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指すとして記しております。取り巻く状況や環境に随時対応し、平群町に居を構える町民の方々に安心、安全を守りながら推し進めていると考えますが、推進に向けての取り組みについてお聞かせください。

答 弁

(住民福祉部 こども支援課)

本町ではこれまでの「平群町子どもの未来応援計画」並びに「平群町子ども子育て支援事業計画」を内包した「平群町こども計画」を昨年度末に策定しました。令和7年から令和11年までの5年間で計画年度とし、「みんなで支えるこどもが主役のまちへぐり」の基本理念を基に、こどもや若者そして家庭、更にはその家庭を取り巻く地域全体を含め、一体となって支えることでこどもが安心して暮らせるまちづくりを目指すというものです。

本計画に基づき、本町に住まいを構えるこどもや家庭の安心、安全を守るため、地域子ども子育て支援事業等を継続して実施していくことは勿論のこと、こども園に防犯カメラや非常通報装置を設置し、先般、関係機関の協力を得て防犯訓練を実施いたしました。また令和7年度からは、多様な集団活動事業の利用支援事業の実施や生殖補助医療の補助の拡充も実施致しました。

今後も、こどもの人権尊重という視点から、こどもの利益を最優先にしながら地域の中で切れ目なく子どもの育ちを支援していく「子育て支援システム」を引き続き維持、発展させることで「こどもまんなか社会」を実現し、こどもや家庭、地域のニーズを捉え、住民にとって安全・安心に暮らせるまち、また、子育て世代が本町に住んでみたいと思えるまちを目指して、各種取組の充実に努めて参ります。

3. 健康へぐり21計画について

質問要旨

令和7年3月に、平群町・平群町健康づくり推進協議会より、『健康へぐり21計画(第3期)』が、発行されました。まちづくりの指針となる「平群町第6次総合計画」を基調とし、住みたい、住み続けたいまちになるための施策を展開すると記してあります。本計画を実施するにあたり、関係機関との連携、協働し、町民の皆様と一体となって取り組みを推進することが肝要と考えます。今後の計画の推進と取り組みをお聞かせください。

答 弁 (住民福祉部 健康保険課)

昨年度策定しました本計画は、令和7年度から令和18年度までを計画期間とし、「誰もが生涯を通じて自分らしく心豊かに生活する」ことで健康寿命の延伸を目指すというものです。この目標を達成するために、今後におきましても各種健診や各種推進委員の活動支援、運動教室等をそれぞれの課題を捉えながら効果的に取組んで参ります。また、この計画を推進し、住民の生涯を通じての健康づくりを支援するために、保健師や管理栄養士、健康運動指導士などの各専門的な人材に加えて、医師会、歯科医師会をはじめ、各種団体のみなさんの住民参画等、協働による取組みを推進して参ります。

今後、上位計画である平群町第6次総合計画のまちづくりの主要課題「高齢化が進む中で、地域で健康に安心して暮らせる環境づくり」の実現を具体化するための健康づくり行動計画として、将来像の実現を目指し、今後12年先を見据え鋭意取組んで参ります。

4. これからのまちづくりについて

質問要旨

奈良県を取り巻く環境は、人口動態などを考慮し、奈良県広域消防組合、国民健康保険、水道企業団設立と県単位化が進められています。また、地方自治体は、人口減少の中、連携を強化することで行政サービスを継続する努力をしていると考えます。本町も『平群町第6次総合計画』を基調にしたまちづくりを推し進めていると考えますが、近隣市町村との連携は、必要不可欠な状況であると感じざるを得ません。町の魅力を生かし、共に生きる施策も重要と感じています。今後の展開をお聞かせください。

答 弁 (総務部 みらい推進課)

現在、近隣市町村との連携として、生駒市とは「生駒市の衛生施設と体育施設・図書館を、平群町の体育施設と総合文化センター・斎場施設」、三郷町とは「体育施設」の相互利用を実施し、広域連携により住民の多様なニーズに対応しております。

議員よりご質問の近隣市町村との連携によるまちづくりについては、今後もさらなる連携の強化を図り、より効果的な行政サービスの提供を行い、住民サービスの向上に努めてまいりたいと考えております。



右のQRコードを読み取り下さい。平群町議会の中継動画がご覧いただけます。



平群の良さを

再発見して下さい



平群町観光ホームページ

山のぽっけNAVI.



【画像は平群町ホームページより引用】

結 束

行政は、単年度主義で、5月末に令和6年度の出納閉鎖をし、次の9月定例会にて、昨年度の執行状況を決算として報告されます。これを経て、令和8年度予算準備が始まります。一連の流れの中、本町において次年度の大変大事な施策を考え、大枠を定めるスタート時期と考えます。本町の大綱や方針に沿った行政運営ではありますが、時代のニーズにも応えなくてはなりません。喫緊の課題や本町の人口体系や環境を考慮し、速いスピードで対応することも必要と考えます。

これからも、地域のニーズを行政に進言し、早い対応ができる議員活動を心掛けて参ります。私の原点である『初心を忘れない』を基調に努力を怠らないように心がけてまいります。これからも、ご支援ください。

よろしくお願いいたします。



皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3

TEL・FAX 0745-45-3955

携帯電話 090-7844-8073

https://nagara-shunichi.com/

Mail :nagara@nagara-shunichi.com

